

## A6病棟の紹介



A6病棟は成人てんかん病棟です。患者様は主に薬の調整や検査、生活調整を目的に入院されます。てんかんを持つ患者様にとって、規則正しい生活を送ることや決められた通りに薬を内服することは、発作の抑制にもつながるため、とても大切なことです。

生活リズムを整えるため、入院生活の中に「運動活動」や「作業活動」を取り入れており、今回はそのうちの作業活動の一例をご紹介します。

## 作業活動



作業活動では、季節の変化や行事にちなんだ大きな作品を複数の患者様たちで作成します。そして出来上がった作品は、毎回病棟エレベーターホールに展示させていただいています。

現在展示されているのはクリスマスの作品です。ツリーやサンタクロース、トナカイのちぎり絵と、その周囲に折り紙で作った雪の結晶をちりばめました。

参加される患者様は作業が得意な人・苦手な人等様々ですが、看護師も一緒にお手伝いしながら真剣に取り組み、みんなで一つの作品を作りあげる達成感を体験していただいています。

作業活動は患者様たちの交流の場でもあり、コミュニケーションを通して一緒に作業を楽しんだり、教え合ったり、息抜きの場ともなっています。



## A6病棟クリスマス会



12月20日、A6病棟クリスマス会を開催しました。看護師4名によるハンドベルパフォーマンスでは「きらきらぼし」「ゆき」「きよしこのよる」の3曲を披露し、患者様と職員全員で合唱しました。「綺麗な音色に癒された!」「素敵だった!」という感想をいただきました。また、看護師によるダンスパフォーマンスでは鳩と馬のマスクを被りながら「UFO」を踊りました。マスクでの登場、ダンスに大盛り上がりで「すごく面白かった!」「楽しかった!」というような声をたくさんいただきました。さらに、ドクターと看護師のコンビでサンタクロースとトナカイのコスプレで登場し、会場を盛り上げました。

クリスマス会を通して、患者様の素敵な笑顔が多く見られ、楽しい時間を過ごしていただくことができました。

